

受けてみませんか



だな〜
Dr.田名の産業医だより2022年11月

大腸カメラ

〜コロナ禍をよりよく生きる〜



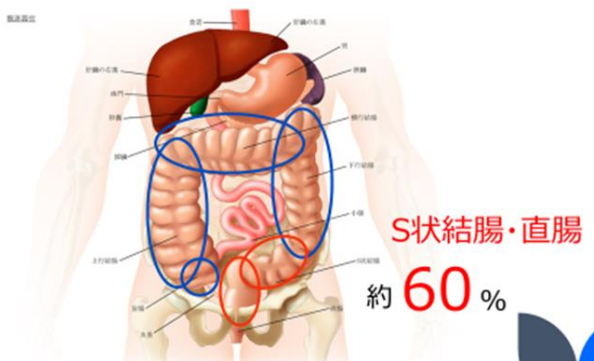
産業医 田名 毅
首里城下町クリニック

産業医だよりは、毎月私のクリニックで行っている 地域むけ医療講演会 YouTube 配信の内容を要約してお伝えしています。今月は「受けてみませんか？大腸カメラ〜コロナ禍をよりよく生きる〜」というタイトルで、那覇市立病院消化器内科医長の西澤万貴 先生にお話いただきました。西澤先生は初期臨床研修医の頃に当院にて地域医療研修を行ったことがあり、その先生を講師としてお招きできたことは大変感慨深いものがありました。以下にご講演の要旨を紹介します。

1、大腸がんについて

皆さんの大腸がんのイメージというと「おなかが痛くなる」「血便が出る」「体重が減る」などがあると思いますが、早期がんでは症状がないというのが重要な点です。大腸がんはできやすい場所があり、約 60%が肛門に近いS状結腸・直腸にできることがわかっています

大腸がんはできやすい場所がある



大腸がんの危険因子と抑制因子

危険因子

- 50歳以上
- 大腸がんの家族歴
- 肥満
- 赤身肉・加工肉の摂取
- 喫煙
- 飲酒

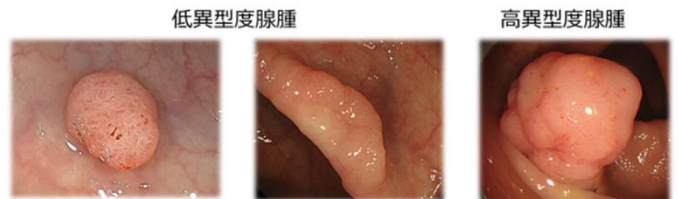
抑制因子

- 適度な運動
- 食物繊維の摂取



大腸がんは、大腸に発生したポリープが遺伝子変異を繰り返して進行がんに至ることがわかっています。

⇒こちらの大腸ポリープはすべて良性ですが、右端の高異型度腺腫は放っておくとがんに進行する状態です。



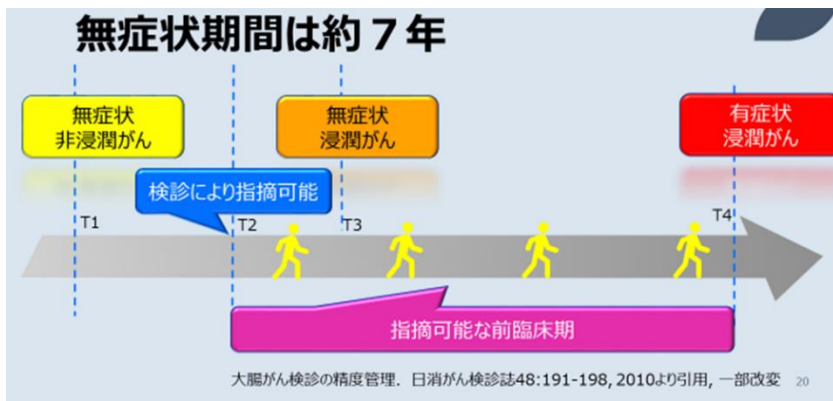
⇒こちらはすでにポリープの中にがんが存在する状態ですので、この段階でポリープをカメラで切除すれば「治ゆ切除」になります。カメラでがんが取れるとはいいと思いませんか？



沖縄男性のがん罹患率は、大腸がんが一番多く、女性は乳がん、次いで大腸がんです。死亡する人の数でも男性では肺がんについて2位、女性の場合は1位になっています。全国と比較しても沖縄県は男女とも大腸がんの死亡率（人口に占める割合）がとても高い（男性3位、女性2位）ことがわかっています。大腸がん検診を受ける率、精密検査を受ける率が低いことがその原因と言われています。

大腸がんは、がんになるまで時間がかかるため、早くみつけることが大切です！
カメラで切除できるうちにみつけましょう！

2、大腸がん検診



検便で行うこの検診の一番の目的は無症状のうちに見つけることです。大腸がんは無症状期間が約7年あるとされています。スクリーニング検査が便潜血検査です。大腸がんが見つかる感度は70-80%とされています。便の表面を長軸方向になぞって適量、採便するのがポイントです。冷蔵保存して翌日までには提出するようにしましょう

う。沖縄県は便潜血陽性になっても、精密検査を受ける確率が全国最下位であることがわかっています。トップの宮城県が84%、最下位の沖縄県は57%です。

大腸がんは、無症状期間が約7年と長く、早期発見のチャンスが多いがんです
便潜血が陽性になったら、必ず大腸カメラを受けましょう！

3、コロナと大腸がん検診

新型コロナウイルス感染拡大による検診受診率の低下が心配されています。がん検診は不要不急ではありません。那覇市立病院では便潜血陽性での大腸カメラを受ける数が、コロナ禍で約70%減少しています。その結果、大腸がん・大腸ポリープが見つかった数も同じように減少しています。つまり今後この減少した数が進行がんになってみつける可能性があると考えられます。

当院における便潜血陽性での大腸カメラ検査数



4、大腸カメラを受けるまで

おなかの手術をしたことがないか…腸管がおなかの中で癒着してカメラが入りにくい場合があります。
血液サラサラの薬を飲んでいないか…ポリープをとる際は一時休薬が必要な薬があります。

下剤は平均1.4L飲み、平均8.5回の排便、便が透明になるまで平均170分(約3時間)かかります。

検査



検査時間は20-30分。

カメラが入りにくい方、ポリープを切除する場合は時間がかかります。

1回の検査ですべてのポリープを切除できないこともあります。



5、女性に優しい大腸カメラ

大腸カメラは「恥ずかしい」「痛そう」「(下剤飲むなど)大変そう」このようなイメージがあると思います。女性の患者さんの中でも、特に若い女性の方々は女性医師に検査をお願いしたいと考える人が多いでしょう。那覇市立病院では以下のように検査を受けやすくなるように工夫しています。



そのほかの工夫

当院では女性医師による大腸カメラも受けられます



3名の女性内視鏡専門医が常駐しており、女性医師希望の患者さんへも対応しています。

痛そう...

緊張が強い場合や痛みが強い場合は鎮静剤・鎮痛剤を使用しながら検査を行います。

飲めなさそう...

お一人暮らしの方、ご高齢でご自宅で下剤を内服できない方、短期での検査入院ができます。

大腸がんが心配な方、便潜血陽性で検査が必要な方は、那覇市立病院をはじめとする専門の病院で大腸カメラをぜひ受けましょう！



第 223 回首里城下町クリニック地域むけ医療講演会

テーマ：『大切な腎臓を守るために
～最近の薬について～』

YouTube 配信



日時：令和5年1月11日（水）午後7時～配信

講師：首里城下町クリニック第一 院長 田名 毅 先生

その他クリニックに関しては HP をご覧ください <http://www.shuri->

首里城下町クリニック『働く人健康支援室』は、

あなたの **相談窓口** です！



産業医・内科医
高血圧が専門です
田名 毅



保健師・産業カウンセラー
キャリアカウンセラー CDA
認定産業看護師
公認心理士 田名彩子

相談窓口

産業医は、あなたの職場とそこで働く人々の心とからだの健康を支援します。

★訪問日を設けている事業所の職員は、お気軽に訪問日をご活用下さい。

★クリニック内の『働く人健康支援室』では健康相談を行っています。

事前にお電話の上、いらしてください。

★クリニック内で産業医との面談は診療の合間となりますが可能です。

事前にお電話くださり働く人健康支援室で“産業医との面談”とお声掛けください。診察や検査の必要がない限りは無料です。

★その他、電話やメール相談も随時行っています。



認定産業看護師
山城愛子



保健師・産業カウンセラー
キャリアカウンセラー CDA
與儀雅代



連絡先

首里城下町クリニック 働く人健康支援室
098-885-5000

携帯 080-4312-9200(田名彩子)

メール sien@sjc.dr-clinic.jp(働く人健康支援室)

フライバシーは守ります。

お気軽にご利用下さい！